

聖霊降臨節第 21 主日(神学校日・伝道献身者奨励日)礼拝

2021 年 10 月 10 日 10:30

日本基督教団 代々木上原教会 礼拝堂

司式: 中村吉基牧師

奏楽: ヒムプレーヤー

前 奏

招 詞 マラキ書 3 章 1 節前半

見よ、わたしは使者を送る。彼はわが前に道を備える。

讃美歌 516 番(主の招く声が)

聖書朗読

旧約聖書 エゼキエル書 33 章 1~6 節

1 主の言葉がわたしに臨んだ。2 「人の子よ、あなたの同胞に語りかけ、彼らに言いなさい。わたしがある国に向かって剣を送るとき、その国の民は彼らの中から一人の人を選んで見張りとする。3 彼は剣が国に向かって臨むのを見ると、角笛を吹き鳴らして民に警告する。4 角笛の音を聞いた者が、聞いていながら警告を受け入れず、剣が彼に臨んで彼を殺したなら、血の責任は彼自身にある。5 彼は角笛の音を聞いても警告を受け入れなかったのだから、血の責任は彼にある。彼が警告を受け入れていれば、自分の命を救いえたはずである。6 しかし、見張りが、剣の臨むのを見ながら、角笛を吹かず、民が警告を受けぬままに剣が臨み、彼らのうちから一人の命でも奪われるなら、たとえその人は自分の罪のゆえに死んだとしても、血の責任をわたしは見張りの手に求める。

新約聖書 マタイによる福音書 10 章 34~39 節

34 「わたしが来たのは地上に平和をもたらすためだ、と思ってはならない。平和ではなく、剣をもたらすために来たのだ。35 わたしは敵対させるために来たからである。人をその父に、／娘を母に、／嫁をしゅうとめに。36 こうして、自分の家族の者が敵となる。37 わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしくない。わたしよりも息子や娘を愛する者も、わたしにふさわしくない。38 また、自分の十字架を担ってわたしに従わない者は、わたしにふさわしくない。39 自分の命を得ようとする者は、それを失い、わたしのために命を失う者は、かえってそれを得るのである。」

祈 禱

祈 禱

讃美歌 424 番(美しい大地は)

献 金

(礼拝当番による祈りに続いて「主の祈り」をささげましょう。)

天にまします我らの父よ。願わくは御名(みな)をあがめさせたまえ。御国(みくに)を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も 与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦(ゆる)すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試(こころ)みにあわせず、悪より救いいただいたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝(なんじ)のものなればなり。アーメン。

祝 禱(派遣と祝福)(ご無理のない方はご起立ください)

後 奏

報 告